

すべての創造の初め

時が始まる前、高い木々や雄大な山々や星をちりばめた空はありませんでした。ただ、神様だけがおられました。神様は、真実なる本である聖書の中で、何が起こったのかを私達に話しておられます。

神様は何もない所（無）から天と地を創造されました。しかし、世界は形がなく、何もありませんでした。神様が突然「光よ。あれ」と仰せられますと、光ができました。神様はすべての力を持っておられる方で、全能なる御自身の御言葉だけを使われて天と地とその中のすべてのものを創造なさいました。

神様は、普通の六日間であらゆるものを創造なさいました。そうです。神様は何万年もの時間をかける事はなさいませんでした。神様の御言葉である聖書は「夕があり朝があった。第一日」と言って、創造の期間を六日間に限定しています。この事は第2日目にも第3日目にも、六日間のすべてにあてはまることです。それぞれの日に神様は「～よ。あれ」と仰せられました。そして、神様のその全能なる御言葉によって、光、空、かわいた土地、海、川、植物、木、太陽、月、そして星、魚、家、畜類、野性の動物などが存在するようになりました。神様のなされた事と創造されたすべてのものとは明確な順序(秩序)がありました。

しかしすべての目に見える生き物のうち、一番すぐれた者が第六日目に特別に創造されました。それが男であり、女でした。男と女はさまざまな理由によって独特に造られました。最初の男アダムは神様御自身によって土地のちりから形造られました。そして最初の女エバは、アダムのあばら骨の一つから神様によって造られました。男と女は実に特別に造られたのです。

人間はまた、神様のかたちに創造されましたので、特別でした。それは人間の見える姿が神様と同じだという意味ではありません。神様は霊ですから、人間が神様のように見えるはずはありません。神様には人間が持っている肉や骨はありません。神様のかたちに創造されたということは、創造の時には、人間には罪がなく、神様の御心を完全に理解し、神様のように完全だったという意味です。事実、神様が創造の御業のすべてを終えられた時、神様は、すべてのものは「非常によかった」と仰せられました。

体に加えて、神様は男と女に生きている魂をお与えになりました。神様は人間にだけ体と魂との両方をお与えになったのです。他のどんな目に見える生き物もこのような魂を持ってはいません。

神様のかたちに特別に創造されたという事の他に、人間には地球上のすべてと地球上に生きるものを支配する務めが与えられました。人間は、海の魚、空中の鳥、家畜、土地、そして地球上に動くすべての生物を守らなければなりませんでした。神様が人間にお与えになった責任は、何と大きな責任でしょうか。

しかし、今日、罪の故に、人間は神様が創造されたものを守ってはいません。

私達は神様が創造された美しい世界を誤用しています。例えば、私達は有害な黒煙で空気を汚染しています。廃水で川を汚しています。町中でも郊外でもごみをまき散らしています。私達は野性動物を殺したり、植林もしないで木を切り出したりしています。

私達は、最早、神様の創造なさった世界の良い管理人ではなくなってしまいました。私達の世界は神様がお造りになられたままの美しい創造ではなくなっています。

また私達は自分自身の体の管理にも無責任になっています。私達は食べ過ぎたり、飲み過ぎたり、たばこを吸い過ぎたりして、自分の体を虐待しています。麻薬で自分の体を破壊します。私達は神様が創造された完全な被造物ではなくなっています。

私達は自分の体やこの世界を濫用する代わりに、神様に感謝すべきなのです。私達は健康であることを神様に感謝すべきです。自分の体に十分気をつけるべきです。私達は畏れ多いほどすばらしく造られていますので、神様をほめたたえるべきです。他のどんな生物も私達がするように考える事も手を使う事もできません。他のどんな生物も私達が持っているような魂を持っていません。

その魂は神様からの贈り物です。神様の御子、イエス・キリストを信じる信仰を通して、私達の魂は、いつの日にか、それをお与えになった神様のところに帰るのです。その時、私達は神様に「主に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い」と賛美の声を上げることでしょう。

さらにもっと勉強するために、あなたの聖書で創世記一、二章を読んで下さい。